

自然感

# くすのき

yumi



## 季節感

菜の花や 月は東に 日は西に  
蕪村

菜種油を搾る為の植付けは随分と減ったが、観光の為の栽培はあちこちで見掛けられる...

『菜の花』

平成20年3月2日  
福岡市上西郷なまずの郷  
大塚俊樹



新事務所はコチラ！

## ~事務局からのお知らせ~

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎号掲載しています。

(<http://www.kurabird.com/> (自然案内舎(有)クラブードHP)のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。)

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見るので、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい(連絡先は、会報奥付をご覧ください)。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。



熊海居人独自の言葉

# 24

「里の恵み 3」 薪炭=薪や木炭は、1950年代まで日本人の日常生活にとって欠かせないものであった。人類が木炭を使い始めたのは、遺跡からの出土から旧石器時代からと推定されており、日本では福井遺跡(長崎県)から出土した木炭のC14測定から、新石器時代末の1万3千年頃には既に使用されていたことが判っている。縄文時代、農耕を中心とした定住生活が開発されると共に、安定した燃料源としての木炭の利用も本格的に始まったと考えられている。初期の炭の焼方は、自然発生的に生まれた伏焼という炭焼きの方法である。地面に木材を並べ、土を掛けて覆い蒸し焼きにする方法である。縄文末・弥生初期に掛けて、農具や武器などの金属器の生産が本格的に始まると、良質の炭が必要となり焼き方にも色々工夫がされるようになる。

中国地方~北部九州では古くよりたたら製鉄が盛んで、大量の木炭を利用していた。付近の山から木を切り出して炭を焼いていた。中国地方から北部九州に掛けて、生活利用も含めて広大な里山が出現した。

白炭と黒炭...白炭は、1000の高温で焼いた炭で、最後の工程で赤く焼けた炭材を窯から掻きだし、湿った灰を掛けて消火しましたもので、硬くて金属音がする。表面に樹皮は残らない。表面に灰が残るので白みを帯びている。高級品である。俗に堅炭とも言う。

黒炭は、炭材の炭化がほぼ終わった頃、粘土で窯の入り口と煙道を塞いでさまして行く方法でつくる。窯内の温度は、天井付近は800、底付近は400程度で、炭化の程度に差が出るため、品質はばらつきがある。炭が冷えてから取り出すため、真黒の炭となる。

\* 白炭という用語は、近世の茶道の世界で誕生した言葉である。

・木炭の材料...クヌギ、コナラ、カシ類からは良質の炭が出来る。カエデ類やリュウブ、マテバシイ、ツバキ、サザンカなどはそれに次ぐ。一般にクヌギ、ナラ、カシ以外の炭は雑炭とされる。

## 事務所移転のお知らせ

自然案内舎(有)クラブードの事務所を、1/30に移転しました。

新事務所: 〒814-0144

福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

地下鉄七隈線梅林駅のそばです。

TELとFAX番号は2/1から092-400-1765に変わりました。

従ってナイス福岡の事務局も移転しました。

ナイス福岡事務局 田村耕作

(財)日本野鳥の会九州・沖縄ブロック大会

「海鳥たちの現状は・・・2008福岡」開催のお知らせ

日本野鳥の会福岡支部 支部長 小野 仁

このたび(財)日本野鳥の会九州・沖縄ブロックでは平成20年度(2008)年度のブロック大会を、4月に玄界灘を見渡せる福岡市の志賀島にて下記の要領で開催します。

海に囲まれると共に大陸に近いという九州の地理的環境を考えると、各支部が持ち寄って海鳥情報をテーマとして九州・沖縄ブロック大会を開催することに大いに意義があるのではないかと思ひ立ちました。

日本野鳥の会福岡支部では日頃接することの少ない海鳥の魅力とそこに生息する野鳥たちの姿を通して海の大切さを感じてもらえる機会にもなればとの願いも込めて本大会の内容をお知らせします。

玄界灘の海鳥に関心をお持ちの方なら、参加歓迎です。一緒に楽しみませんか。

後援：環境省 九州地方環境事務所(予定)



1. 開催日時 平成20年4月12日(土)～13日(日)
2. 開催場所 福岡県福岡市東区大字勝馬「休暇村 志賀島」
3. 主な行事内容

(1) 4月12日(土)

受付開始 12:30 から、大会開催は 14:00～17:30、その内容は福岡支部の「玄界灘海鳥の報告」や九州・沖縄各支部からの海鳥を中心に報告します。夕食後に交流会・オークションを予定しています。

(2) 4月13日(日)

早朝探鳥会 休暇村周辺 6:00～7:00  
探鳥会 志賀島周辺 8:00～11:00

参加費は、お1人様13,000円(1泊2食)交流会費 お1人様1,000円を予定していますが、海鳥の報告のみの参加も可能ですから、4/5までに、福岡支部田村にお尋ねください。田村の携帯090-8220-6160です。



小国杉の家づくり紹介イベント

「小国の木で学び、遊ぼう！」開催のお知らせ

日時：平成20年3月30日(日)  
午前10時～午後3時30分 (小雨決行)  
会場：護国神社参集殿・参道(福岡市中央区六本松)

熊本県小国町の特産品、小国杉の紹介イベントです。

紙芝居などを交えた小国町と小国杉のレクチャー、お子様も楽しめる巣箱作りや絵馬作り(要材料費)をはじめ、自然食品・お菓子などのバザーに小国町の特産品販売など、ご家族揃って楽しめる要素満載のイベントです。どうぞお問い合わせの上、ご来場下さい。

駐車場あり(福岡県護国神社大鳥居前駐車場・246台収容)  
お問合せ：小国町森林組合 0967-46-2411(穴井)  
環境未来センター“希望” 092-522-8332

**日本野鳥の会福岡支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

3 / 1 6 (日) 4 / 2 0 (日)  
天拝山探鳥会（筑紫野市）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：天拝山歴史自然公園  
問合せ：092-920-7112（山本勝）

3 / 2 2 (土) 4 / 2 6 (土)  
久末ダム探鳥会（福岡町）  
時 間：8:00～11:00  
集 合：久末ダム多目的広場横駐  
車場（管理事務所下）  
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

4 / 6 (日)  
今津探鳥会（福岡市西区）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：玄洋高校西側道路  
問合せ：092-891-9005（神園道男）

4 / 1 2 (土)  
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：ポート乗り場前  
092-573-1827（森健児）

4 / 1 3 (日)  
和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：JR 和白駅前公園  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

3 / 2 0 (木) 春分の日 月例探鳥会  
志賀島の海岸 春の海鳥たち  
時 間：10:00～12:00頃  
集 合：志賀島渡船場前  
交 通：博多埠頭から市営渡船が便利  
問合せ：092-985-6591（栗原幸則）

**日本野鳥の会筑後支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）URL:<http://mamewari.blog.ocn.ne.jp/>



3 / 2 3 (日)  
濃施山公園（みやま町）  
時 間：9:00～  
集 合：公園内すいせん橋  
問合せ：0944-58-1672（野田）



**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

3 / 2 9 (土)  
里山を歩こう！  
時 間：9:30～13時頃  
集 合：場所は後日 詳細は下記へ  
問合せ：092-920-3072（松永）  
要：駐車場代・保険料



**福岡植物友の会 主催**

3 / 1 6 (日)  
叶岳（福岡市西区）標高341m  
アオモジ・ニッケイ他  
詳細は：092-947-6536（大吉博子）

**和白干潟を守る会 主催**

3 / 2 2 (土)  
守る会定例会議  
時 間：10:30～12:30  
集 合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012（山本弘子）



3 / 2 2 (土)  
クリーン作戦 と自然観察会  
時 間：15:00～17:00  
集 合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

**久留米の自然を守る会 主催**

3 / 3 0 日 (日) 第355 回例会  
筑後川春の野草を楽しむ会  
時 間：9:00～15:00  
場 所：くるめウス  
参加費：400円  
問合せ：0942-46-8622（古賀）  
共催：筑後川まるごと博物館  
持参：ご飯、お箸、おわん、水筒、  
野草の事前採集を29日に行います。  
柳坂バス停13時集合

**福岡市油山自然観察の森 主催**

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

3 / 2 0 (木) 春分の日  
親子森のよもぎ団子づくり  
早春の森のようすを楽しみながら、  
よもぎ団子を作ります。  
  
時 間：10:00～14:00  
対 象：4歳から12歳の子供と保護者  
申込み：往復はがき3月11日必  
着  
参加費：500円（材料費込み）

3 / 2 3 (日)  
さえずり響く森で  
バードウォッチング  
  
ウグイスのさえずりなど、春の森の野  
鳥を観察します。  
時 間：9:30～13:00  
対 象：一般  
申込み：不要・9時30分より受付  
定 員：なし  
雨天実施

問合せ：油山自然観察センター  
参加費：100円  
〒811-1355  
福岡市南区松原夫婦石 855-1  
TEL：092-871-2112  
開館 9:00～16:30（月曜休館）



平成  
20年度

# 屋久島

自然と人との出会い  
～エコツアー～

## 自然体験セミナー

全セミナー現在受付中！(締め切りは実施日の2週間前です。)

定員 先着20名

費用 18,000円～

(一般・2泊3日の場合。2泊6食、保険料込み。)  
屋久島への往復旅費は含まれません。

1回

### いのちのかがやき 新緑物語

・新緑の森歩き・春の里山観察  
※15日は敬老の日  
高校生～一般 4月18日(土)～20日(日)  
2泊3日



2回

### 屋久島にふれる・感じる 遺産物語

・屋久島の森観察・アニマルウォッチング  
高校生～一般 5月3日(土)～5日(月)  
2泊3日  
(児童生徒は家族参加)  
※GW期間中

3回

### せらからの感動 清流物語

・カヌー体験・水辺の生き物観察  
高校生～一般 6月6日(土)～8日(日)  
2泊3日

屋久杉木工クラフト



4回

### 海・生命(いのち) 渚物語

・ウミガメ観察・屋久島の聖地探訪  
高校生～一般 6月27日(土)～29日(日)  
2泊3日

5回

### 豊かな海の恵み 黒潮物語

・シュノーケリング体験・黒潮が育む森観察  
高校生～一般 7月10日(木)～13日(日)  
3泊4日

6回

### おもいっきり大自然 夏物語

・水辺の遊び体験・屋久島の森観察  
小5～中学生 8月7日(木)～10日(日)  
3泊4日

7回

### 伝統文化にふれる 岳物語

・岳歩き(山岳歩道) 道体験・伝統芸能鑑賞  
高校生～一般 9月12日(金)～15日(月)  
3泊4日  
※15日は敬老の日

8回

### 太古の息吹と軌跡 森物語

・屋久杉・照葉樹の森観察・屋久島林業に学ぶ  
高校生～一般 10月11日(土)～13日(月)  
2泊3日  
※13日は体育の日

スターウォッチング



9回

### 南の島の秋探し 秋物語

・小さな秋を感じる森歩き・里の植物観察  
高校生～一般 11月22日(土)～24日(月)  
2泊3日  
※24日は最終休日

10回

### 神秘の島 もののけ物語

・神秘の森歩き・屋久島の昔話  
高校生～一般 1月10日(土)～12日(月)  
2泊3日  
※12日は成人の日

11回

### 島の恵みを感じる やくしま物語

・島の恵み体験・屋久島の聖地探訪  
高校生～一般 2月27日(土)～3月1日(月)  
2泊3日

12回

### 島の暮らし体験 春物語

・島の暮らし体験・春の自然を体感  
小5～中学生 3月27日(土)～29日(日)  
2泊3日

地元の方と交流



問い合わせ・申込み先

財団法人 屋久島環境文化財団  
鹿児島県 屋久島環境文化研修センター

〒891-4311  
鹿児島県熊毛郡屋久島町安房2739-343  
TEL 0997-46-2900  
FAX 0997-49-7015  
http://www.yakushima.jp



屋久島環境文化研修センター

興味のある会員の方は、ぜひ参加してみませんか？

本会会員である國廣勝氏が小学生と共に観察した成果が北九州市立自然史・歴史博物館自然史友の会発行の『わたしたちの自然史』100号に掲載されました。その成果を少しずつ紹介していきます。乞うご期待！

北九州市立自然史・歴史博物館自然史友の会の担当者様より指摘を受け訂正致しました。

関係者の方に大変ご迷惑をお掛け致しましたことをお詫び致します。

本会会員である國廣勝氏が小学生と共に観察し、北九州市立曾根東小学校の創立30周年祝賀会を記念して作成された原稿の中からその成果を少しずつ紹介していきます。乞うご期待！（2008年4月1日訂正）

第1回 「総合的な学習の時間」と「曾根干潟のカブトガニの産卵を中心とした生活」  
(写真紹介とミニ解説) 2006年10月2日

國廣 勝

§ はじめに

曾根干潟でのカブトガニの産卵がここ四、五年なぜか急激に増え、今や日本最大の産卵地とまでいわれるようになってきました。私はこれまで北九州市立曾根東小学校において、特別非常勤講師として「総合的な学習の時間」の中で地域の環境に学ぶという観点から、曾根干潟の生き物、なかでも特異なカブトガニの産卵について取り組んできました。しかし、今まで各学年のカリキュラムとの関連や、本校から干潟までの距離、観察時間等の関係もあり、私が十分な役目を果たし得なかったので、いちど先生方の資料として、学校周辺地域の生き物のなかでも、カブトガニについて写真を主にまとめておくことは大切な事だと思っていました。

しかしカブトガニの生活全体を写真で紹介する等という事は、私ひとりではとても出来る仕事ではありません。そこで干潟での活動期、主に産卵活動について、これまで市教委主催のジュニアサマースクールや、父兄主催のエンジョイスクール、市民一般の観察会などで、私が学んできた事など写真を中心にして「ミニ解説」的に文章にまとめてみたいと考えておりました。私の方からせん越ですが先生方には、この写真と文章をP・C Dataとして提出致しますので、ぜひPower point 作成なり、何なりに、御自由に活用していただけたらと思います。

ただこれらはいくまでも、カブトガニの産卵行動の一部でしかありませんので、これを手がかりにぜひ子ども達に、この付近では曾根干潟でしか見る事が出来ない「カブトガニの不思議」を実際に自分の目で観察し、体験する機会を子ども達に与えていただきたいと考えています。

(1) 【アジア大陸東部海域に生息のカブトガニ】(標本 = 北九州市立自然史・歴史博物館 収蔵)



地球上に生息するカブトガニの種類は4種類です。写真左は日本に生息しているカブトガニで、左が雌で右が雄です。また、下の写真は左の二匹がミニカブトガニ、右側がマルオカブトガニでどちらも左が雌です。この二種類ともインドのベンガル湾の奥から、マレー半島、スマトラ、ジャワ、ボルネオ等、東南アジア海域に生息し、この両種は生息域が互いに多少重なっている所があります。

さらにもう一種、標本写真はありますが、アメリカカブトガニ一種だけが、他の三種とは離れた北アメリカ大陸の東部沿岸海域に生息しています。なぜ飛び火的に一種だけ不連続な分布になっているのか、その理由は三億年の歴史から説明しなければならず、ここでは省きます。「カブトガニからのメッセージ」参考文献(3)を参照下さい。





新事務所近くの梅林八幡にある  
大木、イチイガシを紹介します。

この木のそばでフクロウの羽を  
拾ったので、おそらく近くに  
フクロウが暮らしているのだ  
しょう。さまざまな動植物の息づか  
いを感じることができます。  
(田字草)



これは何だろう!?



これは何だか  
解かりますか?

《前回の解答》

前回、1月号の答えは、スズカケノキ  
の果実でした。名前の由来はこの果実  
ではなく、4～5月に球形の花序が連  
なって垂れ下がる様子を、山伏が首に  
掛ける篠懸(すずがけ)に見立てたこ  
とによるそうです。

### 事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。  
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

### 会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座: 福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783 年会費: 2000 円

### 皆に知らせたいことはありませんか?

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

### 定例会に参加してみませんか?

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の 18:00～20:00 ごろまで自然案内舎(有)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております!

次回の定例会は、2008年4月11日(金)午後6時より事務局で行います。4月号の原稿は、3/31(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

### 他団体の会報の紹介

日本野鳥の会筑後支部 まめわり第83号 2008年3月1日

福岡県保健環境研究所 保環健ニュース 第62号 2008.2

福岡植物友の会 会報 平成20年3月号

自然観察指導員熊本県連絡会 自然観察 第121号(08.03.07)



お問合せ: 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表: 冷川昌彦 / 事務局長: 小野 仁 /

編集: 田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子 / 会計: 宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX: 092-4000-1765

URL: <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

### 編集後記

2008年2/8定例発送会は、冷川昌彦・大塚俊樹・藤川渡・田村耕作が参加。小野仁・田中健二・山本勝・重松尚紀から欠席の連絡。

旧事務所での最後の発送会となりました。3月から新事務所での作業となりますので、皆様よろしくお願致します。

田字草

